

請 願 文 書 表

受 理 番 号	請 願 第 8 号
件 名	紙おむつの支給について
紹 介 議 員	五十嵐完二
要 旨	<p>私の友人が暗い顔をしているので聞いてみますと、紙おむつの支給が9月で止まり、苦しい生活がもっと大変になったと話しています。</p> <p>私も主人を35年前に亡くして、72歳まで働きました。母も年金が4万円弱だったので、弟と生活を援助し、みとりました。</p> <p>朝から夜まで必死に働いたのですが、82歳の現在、預貯金も残り少なく、心細い生活です。</p> <p>将来、病気で紙おむつが必要になったとき、市からの支給があるということを知り、一筋の光が見えました。</p> <p>不幸にして病気で紙おむつを必要としている方たちの光を消さないでいただきたいと思います。お願いします。福祉を切らないでください。残り少ない人生を、以前と同じ生活ができるようにして下さることを求めお願いいたします。</p>
付 託 年月日 委員会	令和3年2月18日 市民厚生常任委員会
受 理	令和3年2月1日 第509号